

DX推進をサポートするダイナテック(株)のPMS「Dynalution」多彩な機能

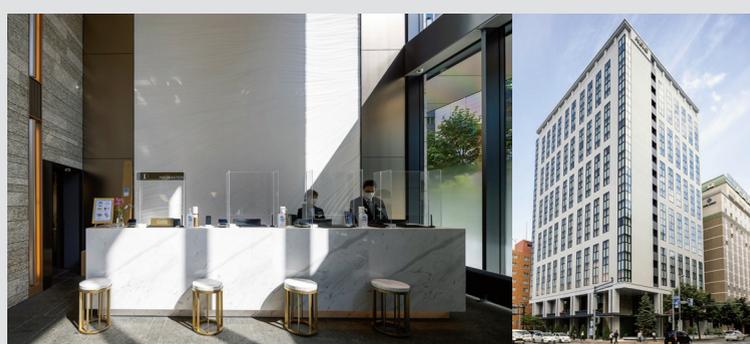
宿泊予約システムやPMSでホテル・旅館業界と併走して35年を迎えたダイナテックが、宿泊業界のDX推進のために、「Dynalution」(以下ダイナリユーション)の強みを生かした新機能をリリースした。そのシステムを導入した有力ホテルの活用法をレポートする。

「京王プレリアホテル札幌」は、札幌を代表するアップパーミドルクラスの宿泊特化型ホテルとして独自の地歩を形成している。逆風の中、直近の稼働は80%強と好調。その陣頭に立つ支配人増田裕介氏は、宿泊業界のDXとホスピタリティの間合いを意識し、ダイナテックの事前チェックインシステムを導入するなど、先進的な施策を実行している。開業時にダイナリユーションを導入した理由として、「必要な機能性とコストに優れ、その拡張性も魅力的だった」と言及する。事前チェックイン・事前決済システムは、ゲストの利便性向上とフロント業務の軽減を意識して採用したが、ゲストからの好意的な口コミもあるなど、現場にも定着。オペレーション上の優位性もさることながら、感染症対策の非接触・非対面で顧

客目線を重視したスタイルを打ち出している。さらに、今年3月よりダイナリユーションと連動するタブレット清掃システム「D-TUS」(ディータス)も採用。従来、客室清掃はTVインジケータやオフィスに戻って確認する必要があったが、このシステムでも客室状況を管理できるようになった。清掃業務の効率化も進み、現場からも好評だ。

最新機能で業務DXとCRMの強化を図る

ダイナリユーションの最新機能「D-Lipeat」(ディーリピート)も今年10月から導入を開始。同機能はPMSのデータとLINEを連携し、予約確認やホテル到着前のチェックイン手続きなどの顧客の利便性を高めると共にフロント業務の軽減にも寄与します。さらには、顧客コミュニケーションの最適化を推進できる機能を有するものだ。増田氏も「PMSとLINEとを連動することで新たに双方向的な顧客関係を構築できるはず」と期待する。まさにこのシステムで予約の確認連絡からホテルのCRM活動に至るまで、訴求力の向上や顧客に合わせた情報配信などができる。同氏は、汎用性にも触れながら、じっくりその可能性を検証していきたいと語る。



京王プレリアホテル札幌
北海道札幌市北区北8条西
4丁目11-1
TEL:011-205-8111

札幌駅北口から徒歩3分の絶好立地に2019年5月に開業。地下1階、地上17階建てで客室数337室を誇る。定評のある朝食を提供する料飲施設、フィットネスルーム、大浴場等を擁し、天井高のあるフロント部分も開放的。直近の稼働率は80%強と好調をキープする。



1 ダイナリユーションと連動するタブレット清掃システムD-TUS。移動しながらインジケータを確認でき、清掃管理業務に役立っている。2 事前チェックインシステムによりオンラインでレジカードの記入や決済を済ませることが可能。ホテル到着時には発行されたQRコードを使い、自動チェックイン機でスムーズにチェックインが可能。



(株)京王プレリアホテル札幌
支配人
増田裕介氏



お電話でのお問合せ:050-1741-9800(受付時間 9:00~18:00 土日・祝日を除く)



ダイナリユーション 検索